令和5年度 香芝東中学校 2年生 シラバス

生徒のようすや学習の状況などに応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしいカ			
		 ◇名づけられた葉	●詩を朗読し、詩の描く世界を理解する。			
		◇セミロングホームルーム	●表現や構成の工夫とその効果について理解する。			
		◇人間は他の星に住むことができるのか	●構成や論理の展開とその効果について考えを持つ。			
	I	 ◇対義語・類義語・多義語 	 ●意味や用法を理解する。 			
	学期	◇短歌の世界・短歌十首	●短歌の特徴を理解し、内容を捉える。			
		◇文法	●用言の内容と形の特徴を理解する。			
		 ◇熟語の構成・熟字訓	●熟語の成り立ちの仕組みを理解する。			
		◇枕草子・徒然草	●古文を朗読し、古典の特徴を捉える。			
		◇壁に残された伝言	●筆者のものの見方や考え方を捉える。			
		◇IOO年後の水を守る	●文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。			
		◇熟語の読み	●重箱読み・湯桶読みを理解する。			
		◇平家物語	●古文を朗読し、古典のリズムを味わう。			
国	2	◇小さな手袋	●登場人物の心情を理解し自分の考えを持つ。			
語	学	◇文法	●用言の内容と形の特徴を理解する。			
	期	◇漢詩の世界	●漢詩の世界を読み味わう。			
2		◇動物園でできること	●筆者の考えを、自分の体験と重ねて捉える。			
年		◇漢字の音と訓	●同音異字・同訓異字を理解する。			
		◇敬語の意味と種類	●敬語の正しい使い方を身につける。			
		◇大阿蘇	●詩の表現に着目し、情景を読み取る。			
	3	◇文法	●助詞・助動詞について理解する。			
	学	◇走れメロス	●作品の構成・特徴を捉え、登場人物について考えを深			
	- 期	◇地域の魅力を振り返って	める。			
	201		●登場人物の言動を捉え、内容を理解する。			
			●取材や調査で集めた情報を工夫して文章にまとめる。			
	①授業に意欲的に取り組み、発表している。					
	②ノート					
	③提出物					
	④定期テスト					
	⑤課題テスト・小テスト・聞き取りテスト					
	⑥スピーチ・暗唱・作文					

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしいカ	
		◆地理的分野		
		〇世界と比べた日本の地域的特色	●世界的視野から見た日本の地域的特色を理解する。	
		〇日本の諸地域	●日本の地域的特色を,自然環境,他地域との結びつき,環境	
		九州地方~近畿地方	保全,産業,人口や都市,生活・文化,歴史的背景などに注目し	
	I		ながら多面的・多角的に理解する。	
	学			
	期	◆歴史的分野		
		○中世の日本	●鎌倉幕府の成立と新しい仏教の誕生について理解し,武士の支配	
		モンゴルの襲来と鎌倉幕府	による社会の変化について考察する。	
		南北朝の動乱と室町幕府	●室町幕府から戦国時代へと時代が動く中での民衆の動きに気づ	
			くとともに、今につながる文化の特徴を理解する。	
		◆歴史的分野		
		○近世の日本	●江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ,そ	
		江戸幕府の成立と鎖国	の社会が長く続いたことを理解する。	
÷1	2	産業の発達と幕府政治の動き		
社	学			
会	期	◆地理的分野		
		〇日本の諸地域	●日本の地域的特色を,自然環境,他地域との結びつき,環境	
2 左		中部地方~北海道地方	保全,産業,人口や都市,生活・文化,歴史的背景などに注目し	
年			ながら多面的・多角的に理解する。	
		◆歴史的分野		
		○近代の日本	●明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が	
		欧米の進出と日本の開国	大きく変化したことを理解する。	
	3	明治維新	●日清・日露戦争、条約改正などによって日本の国際的地位が	
	学	日清・日露戦争と近代産業	向上したことを理解する。	
	期	二度の世界大戦	●近代産業の発展により,都市や農村の生活にどのような変化	
			が生じたのかを理解する。	
			●第一次・第二次の世界大戦に至る経緯と、戦争による被害や	
,			戦後の世界の変化を理解し、平和の大切さについて考察する。	
			評価の観点・評価方法	
	①ł	受業の関心・意欲・態度(発言、態度、積極	2性)※忘れ物・私語には気を付ける	
	②提出物			
	③定期テスト、小テストなど			
	④レポート			
⑤グループ活動での姿勢や発言				

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力		
	章	式の計算	O文字を用いた式の良さを実感し、実際に文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え		
		式の計算	説明することを理解する。また,簡単な整式の加法,減法及び単項式の乗法,除法の計算		
		2 文字式の利用	をすることができるようにする。		
	2章	連立方程式	O連立方程式の必要性と意味を理解し,その解き方について考察し,表現することがで		
-		連立方程式	きるようにする。		
期		2 連立方程式の利用	OI次関数の意味を理解し、I次関数の表、式、グラフを相互に関連付けて考察すること		
	3章	I 次関数	ができるようにする。		
		次関数			
	3章	l 次関数	〇具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を I 次関数とみなして,変化や対応の様子		
		2 次関数と方程式	を考察することができるようにする。		
		3 I 次関数の利用	〇 次関数を用いて具体的な事象を捉え考察することができるようにする。		
2 次 2	4章	図形の性質と合同	O平行線や角の性質を理解し,2 直線の位置関係を考察することができるようにする。		
× │学 学		I 平行線と角	〇三角形の合同条件について理解し,それをもとに図形の性質を確かめることができ。		
┙		2 三角形の合同	ようにする。		
2		3 証明	〇三角形の合同条件などをもとにして,二等辺三角形の性質を証明することができる。		
∠ F	5章	三角形と四角形	うにする。		
+		三角形			
	5章	三角形と四角形	〇平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を理解する。		
		2 四角形	〇平行四辺形の性質を具体的な場面で活用することができるようにする。		
3	6章	データの活用	〇箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解する。		
学		I データの散らばり	O箱ひげ図等を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り,考察したり活用した		
期		2 データの傾向と調査	することができるようにする。		
	7章	確率	O確率の必要性と意味を理解し,簡単な場合について確率を求めることができるよう。		
		確率	する。		
	評価の観点・評価方法				
	①授業に真面目に取り組んでいる。(発言,態度)				
2	②提出物(ノート,ワーク,学習プリント等)をきちんとやって期限を守って提出している。				
3	③定期テスト				
4	課題テ	スト			

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力		
		○物質の成り立ち	●物質は原子や分子からできていることを理解する。		
		○物質の表し方	●原子の記号による物質の表し方を知り、化学反応を化学		
			反応式で表せるようになる。		
		○さまざまな化学変化	●酸化や還元を理解し、それが日常生活の中で利用されて		
			いることを知る。		
		│○化学変化と物質の質量	●化学反応の前後で反応全体の物質の質量が変化しない		
	学		ことに気づき、また反応前後での物質の質量の関係に規則		
	期		性があること理解する。		
		○生物の体をつくるもの	●細胞のつくりや細胞呼吸について理解する。		
		○植物の体のつくりとはたらき	●植物の根・茎・葉のつくりと、光合成・呼吸・蒸散のは		
			たらきを関連づけて理解する。		
		○動物の体のつくりとはたらき	●消化器官、呼吸器官、循環器官などのはたらきを知り、		
			生命を維持するしくみを理解する。		
		○動物の行動のしくみ	●外界からの刺激に反応するしくみを、感覚器官・神経・		
	2		運動器官のつくりと関連づけて理解する。		
	_ Z 学				
理	」	○電流の正体	●静電気の性質を調べ、静電気と電流には関係があること		
科	773		を見いだす。		
2			●電子の移動により、様々な現象がおこることを理解する。		
² 年		○電流の性質	●回路の性質や、電流と電圧の関係についての規則性を見出す。		
-			●実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。		
		○電流と磁界	●電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解する。		
		〇地球をとり巻く大気のようす	●地表には大気圧がはたらいていることを理解し、気象要		
	2		素の変化と天気の変化の関係を見いだす。		
	3 学	〇大気中の水の変化	●霧や雲のでき方を空気中の水の変化と関連づけて理解する。		
	子期	○天気の変化と大気の動き	●大気の動きを立体的にとらえる。日本付近での高気圧や		
	册		低気圧の移動とそれに伴う天気変化を地球規模の大気の		
			動きの一部としてとらえる。		
		〇大気の動きと日本の四季	●日本付近の気団と関連づけながら、日本の四季の特徴と		
			生じるしくみを理解する。		
	①授業にまじめに取り組んでいる。(発言、態度、積極性、忘れ物など)				
	②ノートをきちんととっている。				
	3	③提出物をきちんとやり,期限を守って提出している。			
	(4);	定期テスト			
	⑤課題テスト・小テストなど				
	⑥実験レポート				

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力	
		O Unit O	・過去形や過去進行形を用いて思い出を伝えたり、自分の経験	
		My Spring Vacation	について表現したりできる。	
		O Unit I	・willなどの助動詞を用いて、予定を伝えあったり、名所の紹介文	
		A Trip to Singapore	を理解したりできる。	
		O Let's talk I	・苦情や謝罪に使われる表現の意味や働きを理解し、実際に使う	
		ホテルでのトラブル	ことができる。	
	学	O Unit 2	・when, if, that, because などの接続詞を理解し料理や食文	
	期	Food Travels around the World	化について考えを表現できる。	
		○ Let's talk 2		
		ていねいなお願い	・場面に応じて、相手に丁寧に許可を求めたり、依頼したりでき	
		O Unit 3	る。	
		My Future Job	・不定詞の用法を理解し、自分の将来像や夢を伝えたり社会や	
			職業について考えたりすることができる。	
英		O Unit 4	・助動詞 must や動名詞を理解し、日米の文化の違いを知り、マ	
語		Homestay in the United States	ナーなどを伝え合えることができる。	
		O Unit 5	・疑問詞+to+動詞の原形などの文を理解し、誰もが暮らしやす	
2		Universal Design	い社会について考えることができる。	
年	2	O Let's talk 3	・乗物で目的地に到着するために、行き方を尋ねたり、答えたり	
	学	電車の乗りかえ 道案内	できる。	
	期	O Unit 6	・比較表現を理解し、調査の結果や意見を伝え合うことができ	
		Research Your Topic	る。	
		O Let's talk 4		
		買い物 申し出る・要望を伝える	・好みや要望を伝える表現を用いて、買い物でほしいものを探す	
			ことができる。	
	3	O Unit 7	・受け身の文を理解し、世界遺産の特徴を知り、調べたことを紹	
	 学	World Heritage Site	介することができる。	
	子期	O Let's Talk 5	・電話で待ち合わせの約束などの相談をしたり、好みや要望を伝	
	艻	電話でのやりとり 誘う・断る	えたりすることができる。	
	評価の観点・評価方法			
	① 授業に参加する姿勢(態度、発言、積極性、ノート、持ち物、提出物)			
	② 定期テスト、小テスト、インタビューテスト			
	3	スピーチ、作文		

		学習内容	学習のねらい・身につけて欲しいカ		
		○歌唱:翼をください	●曲想の違いやパートの役割を感じ取って、曲にふさわしい表現をエ		
		夢の世界を	夫する。		
	 学	夏の思い出	●曲想と歌詞との結び付きに注目し、曲にふさわしい表現を工夫す		
	-		る。		
	期	〇鑑賞:フーガト短調	●旋律の重なりが生み出す音楽の動きを理解し、曲想を味わう。		
		Oリズム学習	●リズムが生み出す音楽の働きを理解し、演奏する。		
		○歌唱:夏の日の贈りもの	●旋律の動きやフレーズ、強弱の変化に注目し、曲にふさわしい表現		
			を工夫する。		
	2	音楽会の課題・自由曲	●声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しな		
音	_ Z 学		がら心を合わせて歌う。		
平	子期		●クラスの仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽活動への意欲を高め		
*	州		る。		
2		○器楽演奏:アルトリコーダー	●拍子やフレーズを感じ取り、音色を味わって演奏する。		
² 年		〇鑑賞:交響曲第5番ハ短調	●曲の形式が生み出す音楽の働きを理解し、曲想を味わう。		
4		○歌唱:サンタルチア	●他国の音楽(イタリア語)を知り、表現を工夫する。		
	3	○器楽演奏:ギター	●曲想を感じ取り、奏法を工夫することによって豊かな音楽表現を追		
	学		求する。		
	期	○鑑賞:オペラ「アイーダ」	●舞台芸術としての音楽を味わおう。		
			●オーケストラが生み出す豊かな表現を味わう。		
			評価の観点・評価方法		
	①授業をまじめに取り組んでいる。(発言、態度、積極性、忘れ物、歌唱、器楽演奏、他者の演奏を聴くなど)				
	②提出物をきちんとやり、期限を守って提出している				
	③曲をしっかり聴き、学習内容から自分の考えをまとめる。				
	④実技テスト(歌唱・器楽)				
④ 定期テスト(筆記、聴き取り試験)					

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力		
		Oオリエンテーション	●身近な課題の中からアイデアを出しまとめる力をつける。		
			●イメージを効果的に伝えるための文字の配置や色、イラストレ		
	Т	〇豊かなイメージで伝えよう	ーションなどの組み合わせの効果を味わう。		
	学	(ポスターの制作)	●ポスターの制作を通じて、それぞれが選択したテーマについ		
	期	※夏休みの後に公募に出品	て、身のまわりのことを取り上げながら深く考える。		
		イメージを追い求めて	●感情やイメージを基に主題を生み出し、単純化や省略、強		
美	2		調、形や質感、重心などの効果を考えて、創造的に表現する力		
術	Z 学		をつける。		
	子期		●粘土の特性を生かし、性質、立体感、量感や動勢などの造形		
2	ΗJ		的な特徴を基に意図に応じて表現方法を工夫する。		
年					
	3	遠近法を生かした部屋	●遠近法の表現に関心を持ち、自分らしい部屋のデザインの		
	学		構想を練り豊かに表現する。		
	期		●遠近法の奥行きの効果を生かし、意図に応じてモチーフの構		
	741		成や配色を考え表現方法を工夫する。		
	評価の観点・評価方法				
	① 授業への関心、意欲、主体的に学習に取り組む態度				
	2	作品の完成と提出			
	3	期末テスト			
	4	作品の発想、構想			
	5	作品制作の技能			

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしいカ				
		◎情報に関する技術	●コンピュータの仕組みを知る。				
		○コンピュータと情報通信ネットワーク	●情報をコンピュータに取り込む。				
	前		●情報通信ネットワークの仕組みを知る。				
	期		●情報モラルを身につける。				
			●情報を安全に利用する。				
		○住まいについて考える	●住まいの働きを知る				
		○健康で快適な室内環境を整える	●快適な室内環境の整え方を知る				
技			●大和の風土にあった住まいかたを考える				
び術			●安全な住まい方を考える				
1小J ・			防災リュックの制作				
家		〇商品の選択と購入	●自分の消費生活に関心を持つ				
庭	1.4		●かしこい消費者になるための知識を身につける				
	後		・情報の収集・整理				
2 5	期		・販売方法と支払い方法				
年			・悪質商法				
			・身近な消費生活トラブル など				
		○日常食の調理と地域の食生活	●基礎的な調理操作ができる				
			●安全と衛生に留意できるようになる				
			●食品の調理上の性質について理解する				
			●地域の食材や食文化について関心をもつ				
	①ł	①授業にまじめに取り組んでいる。					
	2,	②ノート、プリントをきちんととっている。					
	3±	③提出物をきちんとやって、期限を守って提出している。					
	④定期テスト						
	6	作品の製作に着実に取り組み、最後まで丁	寧に仕上げる。				

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしいカ
		○集団行動・体つくり運動	●集団行動の基本的な動作を身につける。
		基本姿勢·整列·方向転換	●学校や社会のきまりを守り互いに協力し合う態度を養う。
保		開列・列の増減・補強運動	●目標に対して正確にボールを送る技術を身につける。
健		男子 バレーボール	●それぞれの場面に応じて、パスの球質を使い分ける技術を身につける。
体			●仲間と協力し、積極的に取り組む態度を身に付ける。
育		女子 陸上 ハードル走	●記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。
			●基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。
2	- 学	男女共通 水泳	●基本的な泳法を身につけ、陸上の運動では養えない体力、運動能力を養う。
年	子期		●関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。
			●自然災害によりどのような危険が迫ってくるかを理解し、それによっておこる傷
			害を防ぐためにできることを学ぶ。また、日常生活の中で起こる傷害に対する応急
		保健3章	手当の意義と方法を理解し、実際に起こった時に対応できる力を養う。
		傷害の防止	
		〇体育大会練習	●集合隊形、体操隊形への移動、行進を周りの動きとそろえられるようにする。ま
		集合·整列·行進	た、ラジオ体操第二では、運動の順番を覚え正確な体操を行う。
		ラジオ体操	
		男子	●短距離走、ハードル走、の基本的動作を身に着け、安全に競技を行う。
		陸上競技(混成3種目)	●基本的技術を身につけ、ゲームの中で実際に使うことができる。
		女子	●仲間と協力し、ポイントをとる喜びを味わう。
	2	バレーボール	
	- 学		●投げる、捕る、打つなどの基本技術を身に着け、安全に留意して楽しむ態度を養
	期	男女共通	ð.
	///	・ソフトボール	
			●健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解する。
		〇保健4章	●健康の保持増進には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける
		健康な生活と病気の予防	必要があることを学ぶ。
			●健康の保持増進をするために、正しい判断、行動ができるようにする。
		〇長距離走	●体力向上とともに、距離に応じた自分のペースを見つけ、目標タイムを目指して
	3		走りきる態度を養う。
) 学	男子 バスケットボール	●パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術の習得を行い、簡単なゲームで使う
	, 期		ことができる。
			●仲間と協力しながら練習やゲームに取り組む態度を養う。
		女子 サッカー	●パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術の習得を行い、簡単なゲームで使う
			ことができる。
			●仲間と協力しながら練習やゲームに取り組む態度を養う。

保	評価の観点・評価方法
健	①授業に真面目に取り組んでいるか。(態度・発言)見学者は、授業中見学レポートを書く。
体	②みんなで協力している。
育	③ノートをきちんととっている。
	④提出物(ワーク・プリント)をきちんとやって期限を守って提出している。
2	⑤技能テスト
年	⑥定期テスト